

令和3年度山口県ソフトバレーボール連盟事業計画 (案)

1 はじめに

新型コロナ感染は未だに終息の見えない状況にある。

令和3年度においては、新型コロナの感染状況により、関係者の安全、安心が確保できない場合は、大会等の種目の変更等または中止する場合がある。

なお、現在、体育施設の利用に当たり、新型コロナ感染防止策を講じる必要がある。

2 組織の整備

(1) 県連盟加盟の特例

令和3年度に限り、県連盟への加盟を次のとおりとする。

- ① 加盟金5,000円は徴収しない。※今後の大会開催が未定であるため。
- ② JVA登録に関係なく加盟することができる。

全国大会、~~中国大会~~に参加が決まった団体はJVA登録が必要となる。

(2) 広報活動の充実 ^{中止}

広報担当を通じ、ホームページの充実を図り、タイムリーな情報の掲載、加盟団体への情報提供に努める。

3 指導者の育成

(1) アクティブリーダーの養成

※リーダー資格制度が2021年度から「アクティブリーダー資格」に移行

アクティブリーダー資格取得のための(公財)日本バレーボール協会公認ソフトバレーボール・アクティブリーダー養成講習会は、今年度開催予定であったが、来年度に開催するものとする。

4 事業の取組み

(1) 各大会の開催に向けて

- ① 大会を開催する場合は、新型コロナ感染防止策(19・20頁参照)を講じて実施する。
- ② 大会を開催した場合の参加料は、1チーム4,000円、未加盟団体のチーム5,000円(通常時より各1,000円増)とする。

(2) 県外愛好者との交流事業の中止

全国では、未だ継続して感染が確認されている地域があり、また、変異株による感染拡大も懸念されることから、参加者等の安全、安心を考え、60歳以上を対象として開催してきた「生涯現役フェスティバル」は、中止する。

5 財源の確保

(1) 活動資金事業の取組み

平成28年度から取り組んでいる物品販売(夏、冬)について、県連盟役員及び加盟団体に協力を呼び掛け、引き続き活動資金の確保に取り組む。